

Activity 2015 (2015.01.01-12.31)

合同会社 地球村研究室 代表 石田秀輝

東北大学名誉教授

## 1. 研究

研究は、自然のすごさを賢く活かす新しいものづくりのかたちとしての『ネイチャー・テクノロジー』、さらにその上位概念である、持続可能な社会に求められる新しい暮らし方のかたちを明らかにするための『間抜けの研究』の2つに大別される。

前者は、主に『文科省 新学術領域研究 『生物規範工学』 H24-29年 研究代表』として進め、後者は『JST RISTEX(社会技術研究開発センター) 持続可能な多世代共創社会のデザイン H27-30年 アドバイザー』および、沖永良部島での実践実験、(合)地球村研究室の業務として進めている。

『ネイチャー・テクノロジー』研究では、オントロジー工学を用いて、ライフスタイルの行為分解木をつくり、そこから技術要素が見つかることを明らかにし、機能要素間に矛盾があればBio-TRIZ手法を投入することでそれを解決できることも明らかにした。現在、行為から容易に求める技術要素を見つけるため、行為分解木の標準語彙作成の可能性について検討している。

・『間抜けの研究』では、沖永良部島、北上市、豊岡市、志摩市に研究室の分室を設置し、社会実装をしながらのライフスタイル研究を進めている。例えば、沖永良部島では、酔庵塾を開塾(毎月)、塾生たちと島の文化価値を掘り起こし、孫が大人になった時にもその価値を伝えるため、バックキャスト手法でライフスタイルを描き、それに基づく18の提言を提言書として作成。地方創生総合戦略に反映、同時に酔庵塾内に12のプロジェクトを設置、社会実装実験を進めている。

- ・ 総説・論文 15報
- ・ 著書 4冊
- ・ 講演 55回
- ・ 新聞・TV報道 42回

